

令和5年度

事業報告書

 社会福祉法人 御浜町社会福祉協議会

目 次

【組織の充実強化、法人の健全な運営への取組み】

- 1 組織経営の充実強化
- 2 人事労務管理・個人情報管理・リスクマネジメント対策
- 3 職員の資質向上と確保
- 4 基金・各種積立金と自主財源の確保
- 5 各種関係機関との連携、各種会議への出席
- 6 災害に対する取組み活動

【気軽に相談できる地域づくり】

- 7 身近で気軽に相談できる相談体制の充実
- 8 制度や分野を横断した総合的に対応できる体制の整備
- 9 多世代に対応した情報提供の充実
- 10 専門職や専門機関がつながる体制の充実
- 11 アウトリーチ活動や支援のネットワークの活用による、複雑化・複合化した課題への対応
- 12 分野ごとに基幹的な役割を担える体制の整備による、関係機関との連携強化
- 13 地域に寄り添いながら関わられる体制の整備

【気軽に集える地域づくり】

- 14 地域のたまり場やつどえる場所の周知
- 15 幅広い世代の町民が交流できる、つどいやすい環境の提供
- 16 自分に合った場所や気の合う仲間がつどえる居場所づくり
- 17 趣味活動や運動教室など、同じ目的を持った人同士が活動できる機会の確保
- 18 誰もが生きがい活動や交流活動に気軽に参加できる場づくり
- 19 SNSや広報誌等を活用した活動の周知、及びイベントや各種講座等、それぞれに合った活躍の場の促進
- 20 災害時にも対応可能な見守り体制づくりの促進
- 21 地域ニーズや個別ニーズに合わせて活動が行えるための支援体制の整備
- 22 多世代による活動の担い手の育成
- 23 認知症や障がいなど様々な課題に対する理解促進のための住民啓発等

【在宅で生活する方への福祉サービスの提供への取組み】

- 24 居宅介護支援事業(御浜町ケアサポートセンター)
- 25 訪問介護事業(御浜町ヘルパーステーション)
- 26 通所介護事業(御浜町デイサービスセンター)
- 27 訪問入浴事業(御浜町訪問入浴サービス)
- 28 特定相談支援事業・障害児相談支援事業(御浜町指定障害者相談支援事業所)
- 29 障がい者への訪問サービス事業(御浜町ヘルパーステーション)
- 30 福祉有償運送サービス事業

【その他の取組み】

- 31 福祉健康センター指定管理事業

事業名	人事労務管理・個人情報管理・リスクマネジメント対策
財源元	<input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 自主財源 ()
目的	職員の人事労務管理(労働環境・健康等)の充実、個人情報の管理の徹底、各種リスクマネジメントへの対応を行うことで、社協の健全な経営を図っていく。
事業内容	<p>1. 人事労務管理関係</p> <p>①社会福祉法人役員及び幹部職員研修会へ参加 ②雇用管理や労務管理に関する講習会へ参加 ③働き方改革への対応 ほか</p> <p>2. 個人情報管理関係</p> <p>①情報保護マニュアルの遵守 ②個人名簿等のデータベースを集中化し、クラウドサーバーを活用して管理 ③ICTツールの導入 ④個人情報に関する考え方(プライバシーポリシー)の規程をHP上で公表 ⑤マイナンバーをクラウドサーバー(専用ソフト)で管理 ほか</p> <p>3. 健康管理関係</p> <p>①全職員対象とした健康診断とメンタルヘルスチェックを実施 ②労働衛生法に基づき産業医を委嘱 ③衛生委員会の開催(毎月1回) ④全職員を対象にインフルエンザ予防接種の実施 ほか</p> <p>4. リスクマネジメント関係</p> <p>①町福祉健康センターで職員と来場者を対象とした避難訓練を実施(年2回) ②感染症拡大予防等に関する対策 ③福祉サービス向上委員会でリスクマネジメントとヒヤリハットを協議(毎月1回) ④第三者委員を設置(2名) ⑤各係ごとに苦情解決担当者、苦情解決責任者を設置 ⑥職員を対象としたコンプライアンス研修を実施 ほか</p>
総評	電話システムを変更し利便性を上げた。リスクマネジメント関係では、弁護士を講師としてコンプライアンス研修を実施した。
課題	労務や人事に関する制度改正や労働に対する考え方が変化していく中で、制度と実状に応じた規程変更や組織ルールをどのようにするかが難しくなっている。
その他(所感等)	組織のガバナンスがより求められる時代において、職員のコンプライアンスの向上を行っていく必要がある。
改善への取り組み・方向性	労務や人事に関する研修等に積極的に職員を参加させると共に、専門家の活用についても検討をしていく。
記入者	芝

事業名	基金・各種積立金と自主財源の確保
財源元	<input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 自主財源 ()
目的	<p>安定的な社協の運営を行っていくために、社会福祉基金及び各種積立金額の一定額を保つとともに、自主財源の確保を図っていく。</p> <p>1. 介護保険事業・障がい者事業の収益を積立て、安定した経営基盤を整備する。 2. 民間の寄附等により地域福祉活動の充実を図る。 3. 社会福祉協議会会員の募集と会費の徴収により民間財源の拡充を図る。</p>
事業内容	<p>1. 社会福祉基金 法人化以前の行政が受けた寄附金と住民からの寄附金を積み立てている。用途内容は、預金利子の活動財源化と公共性が高い高額な福祉機器や大事業に活用。 (R6年3月末現在、45,910,548円)</p> <p>2. 社協基盤整備積立金 住民からの寄附を受けた際、用途が福祉事業や公共性の高いサービスに活用してほしいとの意向の際に積み立てている。 (R6年3月末現在、4,515,745円)</p> <p>3. 人件費積立金 介護保険サービス、障がい者福祉サービス等の収益を積み立てている。用途内容は、人件費の補填等に活用。 (R6年3月末現在、87,282,000円)</p> <p>4. 備品等購入積立金 介護保険サービス、障がい者福祉サービス等の収益を積み立てている。用途内容は、備品購入に活用。 (R6年3月末現在、38,166,794円)</p> <p>5. 社協会費 R5年7月～8月に社協役職員により町内全地区で会員募集と会費徴収を実施。 会員数：一般279件、賛助435件 会費総額：329,000円</p> <p>6. 共同募金等の財源 御浜町共同募金委員会の事務局として募金活動や配分活動を行っている。募金額により次年度の社協への配分額が決定される。 [配分実績額] 一般募金：1,134,878円 歳末募金： 27,295円</p>
総評	<p>介護保険収入の減少により、積立額が少なくなっている。また、寄附金についても前年度よりは大幅に減少している。</p> <p>共同募金についての一般募金については、目標額を大幅に上回った。(達成率105.4%)</p>
課題	<p>介護保険収入や会費、寄付が減少しており、収入の増額と支出を抑える取り組みを検討していく必要がある。</p>
その他(所感等)	<p>積立金については、適切な活用についても検討していく必要がある。</p>
改善への取り組み・方向性	<p>財源の確保等については、中期計画を作成しこれからの対応を検討していく。</p>
記入者	芝

事業名	災害に対する取組み活動
財源元	<input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 自主財源 ()
目的	東海・東南海・南海地震などの災害が発生した際、社協として円滑な業務ができることを目的に準備を行う。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆発災時に職員が災害時事業継続計画(以下「BCP」)と防災マニュアルに沿った円滑な業務が遂行できるよう研修等による確認を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ◎備蓄物の確認(年1回) ◎避難訓練の実施(年2回) ◆災害ボランティアコーディネーターの技術向上を図ると共に備品等の整備を進める。 <ul style="list-style-type: none"> ◎災害ボランティアコーディネーター定期研修会の開催(毎月1回) ◎災害ボランティアセンターマニュアルの随時改正 ◎災害ボランティア備品の整備(追加) ◆その他 <ul style="list-style-type: none"> ◎御浜町と「災害発生時における福祉避難所の設置運営に関する協定書」を締結
総評	BCP・防災マニュアルに関しては、備蓄物の確認・避難訓練のみの取組みとなっている。災害ボランティアコーディネーターについては、毎月の研修会を行うことにより、いつ発災するかわからない災害に備えている。また、研修会には御浜町役場健康福祉課と総務課の職員にも参加いただき、連携を図っている。
課題	BCP・防災マニュアルは策定から年数が経過し、現状で活用しているICTの活用が含まれていないなどの理由で見直しが必要となっている。また、見直しに加えて職員の研修も必要。
その他(所感等)	能登半島地震や介護保険の改正によりBCPがより重要視されるようになった。
改善への取組み・方向性	BCP・防災マニュアルの見直しと研修を実施する。
記入者	芝

事業名	居宅介護支援事業(御浜町ケアサポートセンター)											
収入の状況	当初予算額	15,808,000	収入実績額	17,119,390	達成率	108.3%						
目的	<p>事業対象者や要支援者及び要介護者が心身の状況や置かれている環境等に応じて本人や家族の意向を基に、サービスを適切に利用できるよう、サービスの種類、内容等の計画を作成するとともにサービスの提供が確保されるよう指定居宅サービス事業者、介護保険施設等との連絡調整、その他の便宜を図る。</p>											
事業内容	<p>要介護状態となった場合においても、そのご利用者が可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営む事ができるよう配慮し、ご利用者の心身の状況、その置かれている環境等に応じて、ご利用者の選択に基づき、適切な保健医療サービス及び福祉サービスが多様な事業者から総合的かつ効率的に提供していく。</p> <p>【年間延べケアプラン数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業対象者</th> <th>要支援者</th> <th>要介護者</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>36</td> <td>233</td> <td>1,115</td> <td>1,384</td> </tr> </tbody> </table>				事業対象者	要支援者	要介護者	計	36	233	1,115	1,384
	事業対象者	要支援者	要介護者	計								
	36	233	1,115	1,384								
総評	<ul style="list-style-type: none"> ◆R5年度は、職員体制3名で月平均要介護93名、事業対象者及び要支援22名の合計115名の方の支援をさせて頂いた。 ◆通院が困難となった方についての支援に苦慮する事もあったが、R6年4月から新たに開設される所がある為、少し改善の見込みがある。 ◆訪問介護事業所が1か所閉鎖した為、人材不足で厳しい状況。 											
課題	<ul style="list-style-type: none"> ◆サービス追加等による計画書作成やモニタリング、特定事業所加算による記録、加算に対する事務負担は大きい。 ◆できる限り自宅での暮らしを望まれる方が増加傾向の中、ヘルパーの減少等で利用できるサービス等に限りがあり、調整に苦慮する事もある。 ◆訪問介護事業所が1か所閉鎖した事もあり、訪問介護利用については引き続き厳しい状況。 											
その他(所感等)	特になし											
改善への取組み・方向性	<ul style="list-style-type: none"> ◆ケアマネ4人体制を目指し、利用者様の受け入れをコンスタントに行えるようにしていく。 ◆ヘルパー不足については地域の課題でもあり、他事業所との連携や、保険者への要望を検討していく。 											
記入者	植村											

事業名	訪問介護事業(御浜町ヘルパーステーション)					
収入の状況	当初予算額	17,526,000	収入実績額	17,355,980	達成率	99.0%
目的	事業対象者や要支援者及び要介護者が可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう支援する。					
事業内容	ホームヘルパーが事業対象者や要支援及び要介護状態の高齢者の居宅を訪問し、入浴、排泄、食事介助等の身体介護、生活全般(掃除、洗濯、買物、調理等)に亘る生活支援を行う。 その他、通院等のための乗車又は降車の介助を行う。					
	【年間延べ利用者数】					
	事業対象者	要支援者	要介護者 (乗降のみ除く)	乗降介助 のみ	計	
	76	638	4,333	172	5,219	
	[年間キャンセル数： 533件 利用率： 90.7%]					
総評	<ul style="list-style-type: none"> ◆年間延べ利用者数は、ここ数年減少傾向であったが、前年度に比べ増加している。 ◆看取りや在宅で療養される利用もあり、身体介護の支援が増え、収入につながった。 ◆デイサービスの利用に合わせて訪問入る為、曜日や時間帯が重なった。 ◆調理支援の中で、ご利用者に合わせた調理形態の希望が多かった。 					
課題	<ul style="list-style-type: none"> ◆訪問が午前中の希望が多く、集中してしまう。 ◆ご利用者一人一人にあった支援をヘルパー内でも共有し、統一する。 ◆ヘルパーの年齢も年々上がり、身体面にも変化あり、体調に考慮した訪問調整が必要になってきている。 ◆ヘルパーの仕事を身近に感じてもらい、人材を確保できるようにしたい。 					
その他 (所感等)	特になし					
改善への取組み・方向性	<ul style="list-style-type: none"> ◆コロナ禍で出来ていなかった調理実習を開催し、サービスの質の向上やスキルアップにつなげていく。 ◆ご利用者やヘルパーの思いが聴けるような環境にしていく。 					
記入者	桐本					

事業名	通所介護事業(御浜町デイサービスセンター)			
収入の状況	当初予算額	75,107,000	収入実績額	69,228,512 達成率 92.2%
目的	事業対象者や要支援者及び要介護者が居宅において、可能な限り現在の日常生活を維持・向上していけるように、機能訓練や認知症予防等、個別のニーズに合わせてサービス提供することで、ご利用者の社会的孤立の解消や家族の介護負担の軽減を目的とする。			
事業内容	ご利用者の身体機能の維持向上や楽しみ、生きがいにつながる様に、送迎、昼食、入浴、機能訓練、レクリエーション等のサービスを提供する。また、本人や家族様の介護に関する相談や助言を行うことで、在宅生活の延長であるデイサービスを身近に感じていただく。			
	【年間延べ利用者数】			
	事業対象者	要支援者	要介護者	計
	61	265	6,187	6,513
	[年間キャンセル数： 597件 利用率： 91.6%]			
総評	<ul style="list-style-type: none"> ◆家庭や本人の様々な事情により通常の間帯での利用が難しいご利用者について、時間短縮での利用を受け入れ柔軟に対応した。 ◆例年は夏場に向け利用者数が伸びていたが、今年度は長期のショートステイ利用や体調を崩されるご利用者が多く利用者増につながらなかった。 ◆1日平均の目標利用者数27名に対し25.4名と目標を下回った。 ◆訪問診療や訪問看護を利用されているご利用者様について、医療との連携に努めながらサービスの提供を行った。 			
課題	<ul style="list-style-type: none"> ◆認知症から理解力が低下し予測できない行動をするご利用者が増えており、転倒のリスクが高くなっている。 ◆午後の余暇時間の過ごし方について検討する必要がある。 ◆情報共有、また研修の場でもある定例会議への出席率が悪くなっている。 			
その他(所感等)	利用数が曜日や月により安定しない。			
改善への取り組み・方向性	<ul style="list-style-type: none"> ◆介護事故が発生してしまった場合は、上位者へ報告すると共に迅速かつ適切な対応を図る。 ◆職員ミーティングは継続して行い、職員間で情報や課題の共有を密にすることで、問題の解決に努めていく。 ◆余暇時間の過ごし方について、趣味等含め有意義な時間を過ごせるようボランティアの協力を検討していく。(現在、どんなニーズがあるのかを職員ミーティングで話し合いを設けている。) 			
記入者	西口			

事業名	訪問入浴事業(御浜町訪問入浴サービス)																					
収入の状況	当初予算額	4,062,000	収入実績額	4,380,690	達成率	107.8%																
目的	訪問入浴介護事業は、要介護者等がその心身の状況や置かれている環境に応じて、本人や家族の意向をもとに適正な訪問入浴介護を提供することを目的とする。																					
事業内容	<p>自宅まで訪問入浴車で訪問し、居室で入浴していただくサービス。 2分割式の浴槽を組み立て、ご利用者ご本人の身体状況に応じ入浴ボードまたは入浴担架を使用し入浴を行う。利用時の状態により清拭での対応も行う。できるだけベッドの近くで入浴していただき、ベッドと浴槽間の移動は必ず介護職員が介助して行う。</p> <p>【年間延べ利用者数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>要支援者 1</th> <th>要支援者 2</th> <th>要介護者 1</th> <th>要介護者 2</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>103</td> <td rowspan="3">330</td> </tr> <tr> <th>要介護者 3</th> <th>要介護者 4</th> <th>要介護者 5</th> <td></td> </tr> <tr> <td>121</td> <td>5</td> <td>101</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>[年間キャンセル数： 13 件 利用率： 96.2%]</p>				要支援者 1	要支援者 2	要介護者 1	要介護者 2	計	0	0	0	103	330	要介護者 3	要介護者 4	要介護者 5		121	5	101	
	要支援者 1	要支援者 2	要介護者 1	要介護者 2	計																	
	0	0	0	103	330																	
	要介護者 3	要介護者 4	要介護者 5																			
	121	5	101																			
総評	<ul style="list-style-type: none"> ◆今年度も前年度に引き続き、要支援者の利用はなし。 ◆年間を通じ昨年度より利用者数が減少した。理由としては、1日の利用人数が3～4名の間で変動し、週2回利用されている利用者様が変わらず2～3名であったが、1日に平均利用者数が減少したため。 ◆新規のご依頼は3名。1名の方が入院、1名がデイサービス利用、3名の方が死亡の為に利用中止となった。 ◆訪問看護、訪問診療等、医療サービスを利用されている方が多く、病状や、傷の処置等を含め、医療との連携が重要になっている。 ◆常に安全に気を配り、事故防止に努めた。 																					
課題	◆終末期の方に多くご利用いただけるようになったが、短期の利用が多いため、1日の利用者数が安定しない。																					
その他(所感等)	地域として在宅看取りの体制が充実してきており、終末期のご利用者など必要性は高まっているが、訪問入浴事業としての経営の側面から見ると難しい。																					
改善への取組み・方向性	<ul style="list-style-type: none"> ◆訪問入浴事業は、経営的に厳しい面もある。現在は、町内でサービス提供を行っているのは社協だけだが、御浜町をサービス提供エリアとしている事業所もあり、今後について検討していく必要がある。 ◆他事業所のケアマネジャーにも周知を行い、新規利用者様の獲得に努めていく。 ◆他職種の事業者と連携を図り、統一されたサービスの提供に努める。 ◆安全・安楽を心がけ、喜ばれるサービスの提供に努める。 																					
記入者	仲																					

事業名	特定相談支援事業・障害児相談支援事業(御浜町指定障害者相談支援事業所)					
収入の状況	当初予算額	601,000	収入実績額	961,130	達成率	159.9%
目的	障がい者(児)がその有する能力及び適正に応じ、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるように支援することを目的として、障がい福祉サービス等を提供する。					
事業内容	障がい者(児)がその有する能力及び適正に応じ、自立した日常生活又は社会生活を営む事ができるよう配慮し、その方の心身の状況、その置かれている環境等に応じて、本人又は障がい児の保護者の選択に基づき、適切な障がい福祉サービス等が、多様な事業者から総合的かつ効率的に提供されるよう支援する。					
	【計画相談支援実数】					
	障がい児	区分1	区分2	区分3	計	
	1	3	0	2	22	
	区分4・5	区分6	区分なし	暫定		
5	1	0	10			
総評	<ul style="list-style-type: none"> ◆計画相談員1名兼務で行っており、支援人数は例年とほぼ同じような人数で推移している。 ◆高齢者と比べると訪問回数が少なく、ご利用者及びご家族との関係性を作っていく事に難しさがある。 ◆障害分野だけでなく高齢者分野等、複合的な関わりが重要になってきた。 					
課題	<ul style="list-style-type: none"> ◆利用者数が増えてくると、アセスメントやモニタリングに十分な時間を取って関わっていく事が難しい。 ◆計画相談を行っている事業所が少ない為、新規受け入れ等の業務負担が増える。 ◆地域に障がい者サービスの社会資源が少なく、個々の障がいにあったサービスを提供するのが困難な場合もある。社会資源が少ない中、地域全体としての取組みが必要。 					
その他(所感等)	特になし					
改善への取組み・方向性	<ul style="list-style-type: none"> ◆地域として不足しているサービスや資源等もあるため、御浜町の障がい者福祉サービスの充実と向上が図れるよう、行政やサービス事業者と連携し取組んでいく。 ◆相談内容の多様化が考えられる為、柔軟な対応を行う。 ◆今年度は町内に放課後デイ事業所が1か所開設された為、ご利用者の選択肢が広がった。 					
記入者	植村					

事業名	障がい者への訪問サービス事業(御浜町ヘルパーステーション)					
収入の状況	当初予算額	116,000	収入実績額	335,220	達成率	289.0%
目的	<p>障害者総合支援法の趣旨に基づき、利用者の意思と人格を尊重するとともに、常に利用者の立場にたち、居宅において日常生活が営めるよう必要なサービスを提供し生活の質の向上等を図ることを目的とする。 (居宅介護事業・重度訪問介護事業(自立支援給付)、移動支援事業(地域生活支援給付))</p>					
事業内容	<p>移動の介助、生活全般(掃除、洗濯、買物、調理等)に亘る援助を行い、生活等に関する相談及び助言を行う。</p>					
	【年間延べ利用者数】					
	種別	実利用者数	延べ利用回数			
	自立支援給付	4	141			
地域生活支援給付	0	0				
総評	<ul style="list-style-type: none"> ◆自立支援給付対象のご利用者が4名となり、支援が継続できている。 ◆家事援助を行うにあたり、年齢層も幅広く、個々の対応も異なっているが、関係機関との連携をしっかりととることができ、支援につながった。 					
課題	<ul style="list-style-type: none"> ◆在宅での生活を支援しながら送っていく上で、ご利用者の自立に向けた支援の対応が困難な場合がある。 ◆複数のヘルパーでの対応が困難である。 					
その他(所感等)	特になし					
改善への取り組み・方向性	◆ご利用者の意思を尊重し、各関係機関と情報を共有しながら、心身の状態をしっかりと把握し支援につなげていく。					
記入者	桐本					

事業名	福祉有償運送サービス事業					
収入の状況	当初予算額	85,000	収入実績額	96,650	達成率	113.7%
目的	要介護者や障がいのある方など、公共交通機関を使用して移動することが困難な方を対象に、通院、公的機関への用務等を目的に行う有償の送迎サービス。(道路運送法第79条第3号)					
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 車両・・・福祉車両（軽4台）・一般車両（軽2台） ◆ 運転者・・・6名登録 ◆ 運賃・・・ <ul style="list-style-type: none"> 《介護保険連動型》片道2kmまで200円、その後2km増す毎に50円加算 《介護保険外対応型》片道2kmまで300円、その後1km増す毎に100円加算 ◆ 目的・・・通院、公的機関への用務など 					
	【登録会員数】					
	要支援者等	要介護者	身体障がい者	精神障がい者	知的障がい者	
	5	31	14	1	6	
計				57		
【年間延べ利用者数・回数・走行距離】						
延べ利用者数： 117 人 利用回数： 330 回 走行距離数： 1,573.2 km						
総評	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 介護保険制度の通院等乗降介助の適用範囲が拡大され、送迎が対応しやすかった。 ◆ 定期受診以外の通院が増え、件数が重なり、調整が困難な月があった。 ◆ 前年度より若干多く、毎月8名～12名の方にご利用いただいた。 					
課題	◆ 運転者として6名の登録をしているが、通常は訪問業務等も行っている為、時間の確保が難しい。					
その他(所感等)	特になし					
改善への取り組み・方向性	<ul style="list-style-type: none"> ◆ ご利用者の状態に合わせ、安心して外出して頂けるよう支援していく。 ◆ 時間に余裕を持ち、ゆとりある運転を心がけ、安全運転に努める。 ◆ 有償運送サービス事業が少ない中、車椅子車両等、特に身体介助が必要である方の利用を積極的に受け入れていく。 					
記入者	桐本					

